

1月の行事予定

令和元年12月13日

◆今年もあと2週間あまり…◆

令和元年も残り2週間あまりとなりました。今年も子供たちは学校生活を通して、また、御家庭・地域での様々な「ひと・もの・こと」との関わりを通して、大きくたくましく成長してくれました。進級、進学まではまだ3か月ありますが、年が変わるこの機会に、御家庭でもこの1年間を振り返り、お子様の頑張りを認め、励ましていただければと思います。

21日から始まる冬休みでは、冬型の事故や風邪・インフルエンザ等への感染などに十分気を付け、楽しく有意義な生活を送ってほしいと願っています。そして、令和2年1月15日の始業日に子供たちが新たな目標をもち、笑顔で登校してくるのを楽しみに待っています。

◆スケートリンクについて◆

今年度も、釧路市内のアイスアリーナ(春採アイスアリーナ)を使用しスケート学習を実施します。冬休み明けから実施しますので、スケート靴(保護者の責任の下、アリーナでレンタルすることも可)・防寒着・手袋・帽子(ツバがなく、転倒時に頭を保護できるもの)の準備をお願いいたします。また、1年生においては、自分でスケート靴の着脱ができるよう練習しておいてください。よろしく願いいたします。

日	曜	行 事 等
1	水	元日
2	木	特別休暇
3	金	特別休暇
4	土	
5	日	●学芸会写真ネット閲覧・申込最終日
6	月	
7	火	●新入学選考日 ●学芸会写真払込締切日
8	水	●新入学選考合格発表 ○附中合格発表
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	祝 成人の日
14	火	○附中始業日
15	水	●始業日 ●附属運動推進日 ●修了写真撮影期間開始 ●学芸会DVD配付予定 ●学芸会写真配付予定 ●PTA各委員会、学級活動費領収書提出開始(～2/14) ●PTA各委員会反省提出開始(～2/14)
16	木	●朝読書 ●代表委員会 ●冬休み作品展開始(～1/30)
17	金	●北国タイム(低:午前授業) ●食育の日(3年生)
18	土	
19	日	
20	月	●児童委員会(4,5年生) ●スクールカウンセラー来校
21	火	●朝読書 ●感冒調査 ●乗り入れ英語(6年) ●CRT学力検査①(1～6年生:2時間目「国語」,3～6年生:3時間目「社会」)
22	水	●CRT学力検査②(1～6年生:2時間目「算数」,3～6年生:3時間目「理科」) ★会議(15:40～17:00)
23	木	●朝読書 ●登校班会議(中休み) ●ブックトーク(3・5年) ●音楽鑑賞会事前ワークアップ(4年生:5・6時間目)
24	金	●ブックトーク(1・2・4・6年)
25	土	
26	日	
27	月	●美化美化ウィーク/読書週間(～1/31まで) ●スクールカウンセラー来校 ●給食費、PTA会費引落日 ●代表委員会
28	火	●感冒調査 ●スケート(1・4・6年) ●乗り入れ英語(6年)
29	水	●音楽鑑賞会(東京合唱団 2・3時間目) ★会議(15:40～17:00)
30	木	●冬休み作品展終了 ●避難訓練(冬季)
31	金	●親子一日入学 ●附小ジャージ販売案内配付 ●スクールカウンセラー来校 ●アレルギー関係書類提出締切日(1～5年)
[2月の主な行事]		
● 3日(月)	附属運動推進日 スケート(2・3・5年) ジャージ見本展示&申込期間(～14日)	● 12日(水) 参観日(高学年) ● 13日(木) 参観日(中学年) ● 14日(金) 参観日(低学年) PTA各委員会活動反省締切 PTA各委員会・学級活動費報告書提出締切
● 4日(火)	スケート(1・4・6年) 乗り入れ英語(6年)	● 17日(月) 短縮午前5時間授業
● 5日(水)	4・6年合同音楽(5・6h:尺八&お琴)	● 19日(水) 短縮午前5時間授業
● 6日(木)	スケート(2・3・4年)	● 21日(金) 六年生を送る会
● 7日(金)	全校朝会 スケート(5・6年)	● 25日(火) 乗り入れ英語(6年)
● 10日(月)	短縮午前5時間授業	● 26日(水) 給食費・PTA会費引落日(最終)

■1月の生活目標
時間を大切に。けじめのある生活をしよう
■給食指導の重点
マナーを守って、楽しく食べよう
～食事のマナーについて考えよう～

【冬季休業期間中の教員の勤務時間について】

冬季休業期間中、教員の勤務時間が「11:15～17:00」「12:15～17:00」となっている日(変形労働*詳細は裏面コラム参照)が多くあります。冬季休業期間中に学校に連絡等をいただく場合、緊急時以外は、上記の時間帯での連絡をお願いします。また、この期間は出張・研修・年休等で教員が不在になることも多くあることを御承知おきください。

先生たちにも宿題が！？

本校は、教員に変形労働制を採用しています。1年間のうちの、どうしても業務が多くなりそうな数日の勤務時間を延長し、その分、長期休業（夏・冬休み）の勤務時間を短くする制度です。公立校でも採用の動きがありますが、賛否両論のようです。

さて、そのような本校の長期休業ですが、教員にも「宿題」があります。特に、今回の冬休みには重たい(?)宿題が…

小学校では来年度から教科書が変わります。そうすると、これまで活用してきた各学年・各教科等の指導計画（各単元等の内容を、何時間計画で、いつ、どのような順序で、どのように指導するか等を具体的に示したもの）を変える必要が出てきます。もちろん、指導計画は毎年、見直し、改善を図った上で活用しているものですが、やはり教科書が変わるとなると、それに伴って、例えば国語科で扱う教材も変わりますので大きな変更が余儀なくされます。

また、本校では、単に各教科等の内容を別々のものとして捉えるのではなく、「年間プログラム」でお示しているように、各教科等の関連を図りながら「教科等横断的」に指導していますので、いわゆる「パッケージ」にふさわしいかどうか、どのように扱くと効果的か… を検討しなければなりません。

子供たちにとって魅力的な、また、できれば公立校の先生たちにも御活用いただけるような指導計画の作成に、全教職員で取り組みます。